

■ 東京国体(スポーツ祭東京 2013) トピックス

チーム和歌山

男女総合990.5点、18位！！

入賞おめでとうございます！！

～レスリング競技少年男子：奥井選手 国体3連覇～

～アーチェリー少年男子 国体2連覇～

● アーチェリー競技

少年男子	山田啓睦(和歌山高等学校)、坂本一磨(貴志川高等学校)、倉矢知明(同)	1位(24点)
少年女子	古田悠(和歌山高等学校)、殿田留巳(同)、平川仁巳(同)	3位(18点)

● レスリング競技

少年男子グレコローマンスタイル50kg級	辻誠矢(和歌山北高等学校)	2位(7点)
少年男子グレコローマンスタイル55kg級	三輪大珠(和歌山北高等学校)	3位(5.5点)
少年男子グレコローマンスタイル74kg級	奥井眞生(和歌山工業高等学校)	1位(8点)
成年男子グレコローマンスタイル74kg級	阪部創(神奈川大学)	3位(5.5点)
成年男子グレコローマンスタイル120kg級	谷田昇大(株式会社ヤマヨテクスタイル)	2位(7点)

● ソフトテニス競技

成年女子	端地まどか(きのくに信用金庫)、西村美咲(同)、安川真璃子(アキム株式会社) 佐々木遥(中京大学)、小泉友梨恵(早稲田大学)、村上千紘(関西大学)	4位(25点)
------	--	---------

● カヌー競技

成年男子カヌースプリント		
カナディアンシングル200m	阪本直也(和歌山県教育センター学びの丘)	1位(8点)
成年女子カヌースプリント		
カヤックシングル200m	西山史扇(和歌山大学)	4位(5点)
成年女子カヌーワイルドウォーター		
カヤックシングルスプリント	大濱幸子(南紀高等学校:教)	8位(1点)
少年男子カヌースプリント		
カヤックフォア200m	橋本哲也(田辺工業高等学校)、中田孝幸(同) 今村啓志(同)、西森弘貴(神島高等学校)	3位(18点)
カナディアンペア200m	植野匠(神島高等学校)、泰地裕次郎(田辺工業高等学校)	5位(12点)

● 陸上競技

少年男子 A 三段跳	矢野佑馬(和歌山工業高等学校)	4位(5点)
------------	-----------------	--------



選手・監督からのコメント**○奥井眞生選手（レスリング競技：少年男子）**

山路先生を始め、多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。国体3連覇することができ、うれしい気持ちとこれをバネにさらに頑張っていこうという気持ちがあります。紀の国わかやま国体と東京オリンピック出場を目指し、これからも頑張っていきたいです。

○辻誠矢選手（レスリング競技：少年男子）

準優勝できてうれしいですが、優勝したかったです。今後大学でさらに練習して、強くなり、紀の国わかやま国体では成年チームで出場したいです。

○三輪大珠選手（レスリング競技：少年男子）

今まで準決勝で負けていたのもう一つ勝って決勝にいきたくかったです。紀の国わかやま国体に貢献できるように頑張ります。

○谷田昇大選手（レスリング競技：成年男子）

今大会は、前回の岐阜国体の成績が5位だったのでそれよりも上の成績を、という気持ちで臨みました。決勝戦では苦杯を舐めましたが、十分戦える事ができました。今回の結果に満足せず練習を重ね、来年・再来年と優勝できるように頑張ります。

○阪部創選手（レスリング競技：成年男子）

決勝へ残れなくて悔しいです。インカレの準決勝で負けている相手なので勝ちたかったです。紀の国わかやま国体までレベルアップして総合優勝に貢献したいです。

○森下浩監督（レスリング競技：少年男子）

奥井選手は3連覇のプレッシャーがかかる中、力を出し切り、優勝してくれてとても嬉しいです。全体としても奥井選手がチームを引っ張り、いい結果を出すことができました。

○室谷正憲監督（レスリング競技：成年男子）

今回は、選手全員が上位進出を目標に頑張ってきました。レスリング総合成績でも6位に入賞し、選手皆が100%以上の力を出してくれた結果だと思います。紀の国わかやま国体に向けて、より上を目指して頑張ります。

○山田啓睦選手（アーチェリー競技：少年男子）

去年優勝したプレッシャーの中ということと、3年生として後輩を引っ張らないといけないという気持ちがあり不安もありましたが、優勝できてすごくうれしいです。

○坂本一磨選手（アーチェリー競技：少年男子）

支援して下さった皆様の応援に応えるために、2連覇の目標を達成できるよう頑張りました。すごく緊張しましたが、チーム和歌山で戦って優勝できたことに感謝します。

○倉矢知明選手（アーチェリー競技：少年男子）

今回は楽しもうと思い、試合の時はすごく楽しめました。来年は3連覇を目指して、後輩を引っ張っていきたいと思います。

○吉田慶二監督（アーチェリー競技：少年男子）

1回戦の大阪との激闘で弾みがついて優勝することができました。応援してくれた皆さんの声援があったおかげで、緊張した中でも普段通りの点数をうつことができました。2連覇できて、率直にうれしいです。

○古田悠選手（アーチェリー競技：少年女子）

準決勝で負けた原因は、自分が緊張とプレッシャーに負けたからだだと思います。今回はメンタル面の課題が見つかったので、来年の長崎国体や紀の国わかやま国体に向けて色々な試合で経験を積んで今回の反省をいかして優勝を目指したいです。

○殿田留巳選手（アーチェリー競技：少年女子）

初めての国体で、幼馴染みの二人と戦えたことが良かったです。緊張しても、振り返って二人の顔を見た時にリラックスしてうつことができました。3人の選手と森先生と力を合わせて、3位という結果を残せてすごくうれしいです。

選手・監督からのコメント**○平川仁巳選手（アーチェリー競技：少年女子）**

今回3位になれたのは、3人の力を合わせて頑張った結果です。私は2人に助けってもらったので、2人にはすごく感謝しています。来年の長崎国体に向けて頑張りたいと思います。

○森毅監督（アーチェリー競技：少年女子）

チームワークの勝利だと思います。3人それぞれの役割をしっかりとこなし、緊張の中でも雰囲気明るく保てたのがよかったと思います。優勝できなかったことは悔しいですが、優勝は次回にとっておきたいと思います。

○大濱幸子選手（カヌー競技：成年女子）

今日は上位入賞を狙っていたので残念です。紀の国わかやま国体に向けて、これからも頑張っていきます。

○谷地利和監督（カヌー競技スプリント）

カヌー競技の目標得点に少し及びませんでした。来年、再来年に向けてさらに得点を積めるように頑張ります。

○端地まどか選手（ソフトテニス競技：成年女子）

残念ながら4位でしたが、チーム一丸となって戦えました。来年は今年以上の戦績を長崎の地で残して、紀の国わかやま国体では最高の成績を残します。

○矢野佑馬選手（陸上競技：少年男子）

ベスト8に入って和歌山に1点でも多く貢献できるようにという目標で競技に臨みました。4位という結果に終わり、3位と同記録だったので悔しいですが、大きな大会でベストを出せたことがとても嬉しいです。

第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013）**和歌山県選手団 星総監督 談話**

「スポーツ祭東京2013」が会期前の水泳競技・ボート競技（9/11～15）に引き続き、9月28日から10月8日までの計16日間にわたり開催され、本県選手団は、各競技において大いに健闘しました。

今大会は、男女総合成績1025点・第18位を目標にしていたが、結果は、990.5点・第18位、（女子総合成績は、490点・第26位）となり、昨年の岐阜国体の934.5点、第21位に比べ、56点増加し、順位を3つ上げることができました。

入賞競技数につきましては、18競技37種別75種目となり、前回の17競技36種別61種目に比べ1競技増、1種別増、14種目増となりました。

獲得した競技得点の割合につきましては、個人競技が10競技385点（65%）、対人競技が6競技178点（30%）、集団競技が2競技27.5点（5%）となり、種別比較では、成年種別23種別367点（62%）、少年種別12種別202.5点（34%）、共通種別1種別21点（4%）となりました。男女別得点では、男子が400.5点（68%）、女子が190点（32%）となっています。

男女総合得点が増加した主な理由としましては、冬季競技で得点できたこと、昨年と比べ優勝種目が増えたこと、安定して力を発揮する選手が増えてきたことなどが挙げられます。

今回活躍した主な競技としましては、カヌー競技で成年男子カナディアンシングル2種目優勝など90点、フェンシング競技で成年女子フルーレ優勝など54点、セーリング競技で成年女子スピリッツ級優勝など52点、レスリング競技で少年男子グレコローマンスタイル74kg級優勝など47.5点、自転車競技成年男子で個人ロード・レース優勝など46点、アーチェリー競技で少年男子優勝など42点、水泳競技で成年男子高飛込2位入賞など42点、ソフトテニス競技で成年女子4位入賞など40点を獲得し、総合成績に大きく貢献されました。

一方、集団競技につきましては、近畿ブロックを突破する種目が増えたり、本国体でも強豪相手に善戦したりするなど明るい兆しもありますが、得点獲得にはあと一歩という状況が見られました。県体育協会としましては、2年後の「紀の国わかやま国体」で男女総合優勝を果たすため、入賞すれば高得点を獲得することができる、ホッケー、ラグビーフットボール、サッカーなどのチームスポーツの強化や女子種別の強化に引き続き取り組むとともに、スポーツ祭東京2013における勝因及び敗因の分析を詳細に行いながら、県競技力向上対策本部及び各競技団体との連携を図り、優れた指導者の養成・確保及び競技者の発掘・育成・強化をより一層推進してまいります。